

# 神戸市内景況・雇用動向調査

## 第38回 結果報告書

令和5年3月

神戸市経済観光局

1. 調査の概要	1
2. 神戸経済の動向（2023年3月）～結果の概要～	2
（1）業況	5
（2）生産・売上	7
（3）原材料・仕入れ価格	9
（4）採算	11
（5）資金繰り	13
（6）事業者向け補助金施策等の認知状況及び周知経路	15
3. アンケート内容（オンライン調査）	17

## 1. 調査の概要

- (1) 目的・内容 市内企業の短期的な景況と雇用に関する動向を把握する目的で、市内企業に対するアンケート調査、ヒアリング調査を一連の「神戸市内景況・雇用動向調査」として実施する。
- (2) 調査対象 市内に本社のある企業2,000社（回収数650、回収率：32.5%）

回収状況	市内本社企業			合計
	大規模	中規模	小規模	
製造業	1	35	67	103 (257)
非製造業	5	213	329	547 (1,743)
合計	6	248	396	650 (2,000)

( ) 内は調査対象企業数

(定義)

小規模・・・市内に本社があり、以下に該当するもの

（製造業その他）従業員数20人以下の企業

（商業・サービス業）従業員5人以下の企業

中規模・・・市内に本社があり、小規模に該当しない以下のもの

（製造業その他）資本金3億円以下又は従業員数300人以下

（卸売業）資本金1億円以下又は従業員数100人以下

（小売業）資本金5千万円以下又は従業員数50人以下

（サービス業）資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

大規模・・・市内に本社があり、小規模、中規模のいずれにも該当しないもの

(分類)

製造業（7分類）食料品等、化学・石油製品等、ゴム製品製造業、鉄鋼・金属等、一般機械器具、電信・輸送機器等、その他の製造業

非製造業（9分類）建設業、運輸・倉庫業、卸売業、小売業、不動産業、情報サービス、宿泊・飲食サービス、その他の対事業所サービス、その他の対個人サービス

- (3) 調査期間 2023年3月1日（水）～2023年3月20日（月）

- (4) 集計・ 報告書の数値は、DI(デフレーションインデックス)を用いた。

表示方法

$$DI = X - Y$$

X = 上昇・増加・過剰・改善・過大と回答した企業の割合 (%)

Y = 下降・減少・悪化・不足と回答した企業の割合 (%)

※DIおよび時系列比較項目については無回答を除いて集計した。

※報告書内のグラフおよび数表の値は、単位未満を四捨五入しており、回答の小計および合計値が100%にならない場合がある。

## 2. 神戸経済の動向（2023年3月）～結果の概要～

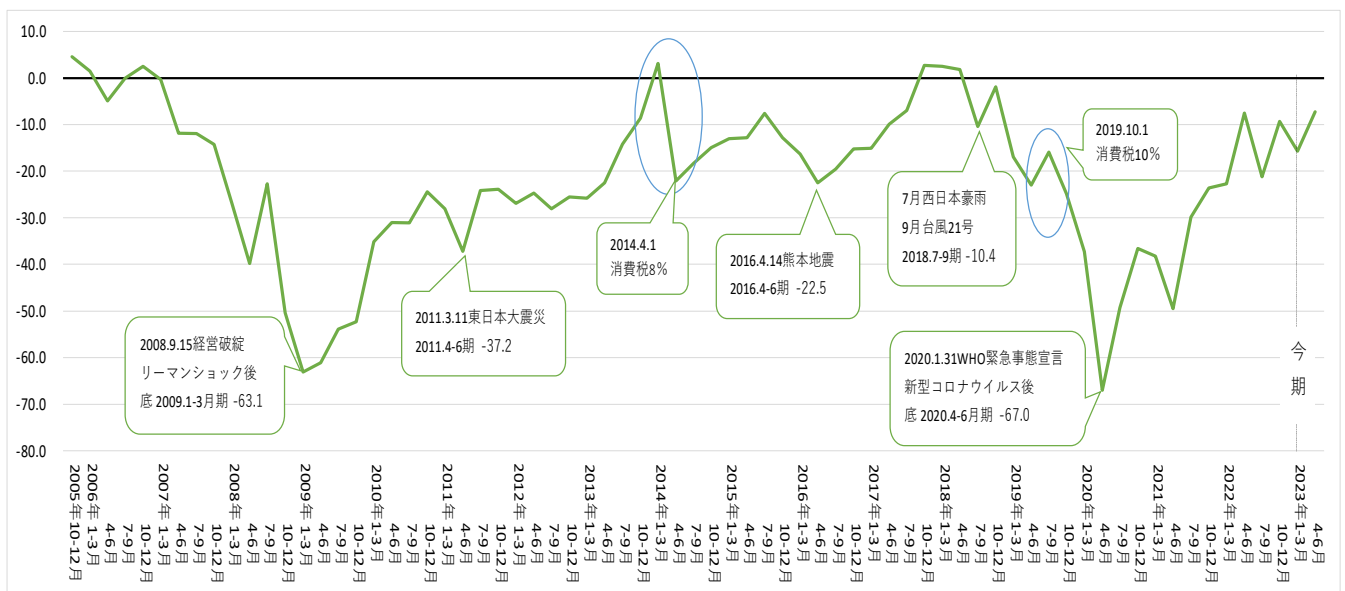
**自社業況DIは、全産業でマイナス 15.7 ポイントと、前期より 6.4 ポイントの低下**

**先行きについて、来期は上昇に転じる見通し**

- 今期（2023年1～3月期）の業況DIは▲15.7と、前期（▲9.3）と比べて6.4ポイント低下した。
- 業種別では、製造業の今期の業況DIは▲27.2と、前期（4.8）より32.0ポイント低下した。  
非製造業の今期の業況DIは▲13.5と、前期（▲11.7）より1.8ポイント低下した。
- 規模別では、大規模企業の今期の業況DIは▲16.6と、前期（33.3）より49.9ポイント低下した。  
中規模企業の業況DIは▲6.1と、前期（2.1）より8.2ポイント低下した。小規模企業の業況DIは▲21.7と、前期（▲18.7）より3.0ポイント低下した。
- 先行きについて、来期（2023年4～6月期）の業況DIは▲7.2と、今期（▲15.7）より8.5ポイント上昇する見通し。

【調査対象】 市内企業2,000社（回収数：650社、回収率：32.5%）

【調査時期】 2023年3月1日（水）～2023年3月20日（月）

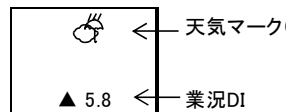


区分1	区分2	業況DI（上昇－下降）		
		2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6 （予測）
全体		-9.3	-15.7	-7.2
規模別	大規模	33.3	-16.6	16.6
	中規模	2.1	-6.1	8.8
	小規模	-18.7	-21.7	-17.7
業種別	製造業	4.8	-27.2	-4.9
	非製造業	-11.7	-13.5	-7.7

【業種別動向】(前期:令和4年10月~12月期、今期:令和5年1月~3月期、来期:令和5年4月~6月期)

区分1	区分2	前期	今期	来期	業種別のヒアリング対象企業のコメント
全体		9.3	15.7	7.2	以下、各業種におけるヒアリングのコメントを掲載。
製造業	食料品等	43.7	42.1	5.3	・全体的な売上高は下降気味であり、来期にかけても回復は難しい。原材料の高騰、人件費の負担も重くなっている。(食料品製造業) ・売上高は上昇しているものの、輸送費や原材料の負担が増しているため総合的に不変と判断。来期も大きな変動はない見込み。(食料品製造業)
	化学・石油製品等	11.1	27.3	18.2	・物価高騰であるものの、主力製品の菌ブラスをはじめ業況は例年通りである。来期も変動要因は見当たらない。(プラスチック製品製造業) ・取引先の生産が落ち込んだ影響を受け、売り上げが下降した。今後の回復も見込み難しく、来期は今期程度を予想する。(プラスチック製品製造業)
	ゴム製品製造業	42.8	66.7	11.1	・物価高騰を受けて価格改定を行った結果、受注量が減少。来期も同様の推移を見込む。(ゴム製品製造業) ・中国から取り寄せていた主原料が環境汚染やコロナの影響で生産中止となり原材料価格上昇。受注量減少もあって業況は優れない。(ゴム製品製造業)
	鉄鋼・金属等	41.6	31.2	6.3	・主力製品である遮蔽材の原材料高騰は避けられなかったが、受注量は大きな変動はなかった。来期については現在の業況から下降気味になる。(非鉄金属製造業) ・船舶向けに金型部品を製造。主力先からの受注は変動なく、今期は安定した推移を辿った。来期も変動要因は見当たらず不変としている。(金属製品製造業)
	一般機械器具	50.0	0.0	0.0	・昨年に比べて受注が激減しているため、業況は下降している。来期については不透明であり、予測し難い環境にある。(生産用機械器具製造業) ・足元の受注状況から今期の業況は大きな変動はなかった。しかし、世界情勢を見ると先行きは楽観できず、来期は下降する見通しである。(生産用機械器具製造業)
	電信・輸送機器等	28.6	0.0	30.0	・価格転嫁したことで売上高は上昇した。しかし、収益への寄与は乏しく、業況は不変。(輸送用機械器具製造業) ・ガスタービン部品は物価高騰の影響や受注・納期ずれの発生により下降。来期については今期ほどの変動はない見込み。(電気機械器具製造業)
	その他の製造業	8.3	20.0	23.3	・光熱費など経費の上昇を受けて今期業績は下降。しかし、直近では新規受注が増加し、来期は上昇に転ずる。(その他の製造業) ・コロナの影響の緩和により上昇。ただ、来期については現時点での予想は困難である。(なめし革・同製品・毛皮製造業)
非製造業	建設業	34.5	10.6	28.8	・業界特有の季節要因もあってこの3ヵ月は多くの案件を手掛けた結果、今期は上昇した。来期についても同程度の推移を予想し、不変としている。(職別工事業) ・半導体不足の影響が続き、今期はこれまで業況の変動はなかった。来期もこの影響は解消されず、変動はないと予測する。(設備工事業)
	運輸・倉庫業	8.0	32.3	9.6	・港湾運送を中心に手掛け、今期は変動要因はなく不変としている。来期についても変わりがない見通しである。(運輸に附帯するサービス業) ・今期に大きな変化は無く、来期についても大きな変動要因は無く横這い見込み。(倉庫業)
	卸売業	6.4	24.3	6.7	・海外向けの回復が遅れて来期に受注・納品はずれこんでいる。(機械器具卸売業) ・コロナ禍に比べると回復しており、来期についても上昇を維持する見込み。(繊維・衣服等卸売業)
	小売業	18.6	13.0	3.5	・気候変動による仕入値の上昇が影響して下降したが、来期は影響が落ち着いて上昇する。(飲食料品小売業) ・コロナ禍の影響が緩和されて上昇傾向。観光客の増加で来期も上昇を見込める。(その他の小売業)
	不動産業	16.7	15.2	16.9	・一般個人向けであり、短期間で大きな変動は発生せず、来期も変化は見込んでいない。(不動産業) ・土地価格の高騰により販売が伸び悩んでおり、来期も土地価格の変動次第。(不動産業)
	情報サービス	17.7	6.7	13.4	・コロナ禍の影響を引きずって今期は上向かなかったが、来期はコロナ禍の影響緩和による上昇を見込む。(ソフトウェア開発業) ・ソフトウェア並びに情報処理を提供しており、安定した受注により来期の変動も無い。(情報サービス業)
	宿泊・飲食	25.0	1.9	16.9	・価格転嫁を行った事で上昇基調。人材確保次第で来期も増収を見込める。(中華料理店) ・コロナ禍の緩和により顧客が増加して上昇。来期も同様の流れを予測する。(中華料理店)
	対事業所サービス	17.8	4.8	9.7	・顧客の動きが良くなり、上昇したが、来期は落ち着くと予測。(船舶部品修理業) ・原材料価格の高騰や供給面の不安定性により納品できないものを多く抱えている事で下降状態が続いている。(自動車整備業)
	対個人サービス	15.3	21.6	7.9	・コロナ禍の影響緩和は幾分感じるものの、大きく伸びてはならず、来期は燃料費の高騰で先行き不透明。(浴場業) ・コロナ禍の影響は緩和されつつあるが、今期は前期と変化少なく、来期は季節要因により上昇を見込める。(リネンサプライ業)

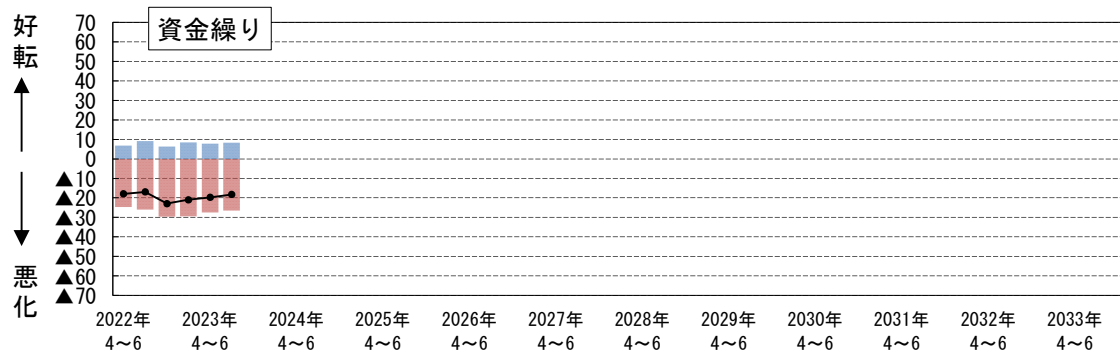
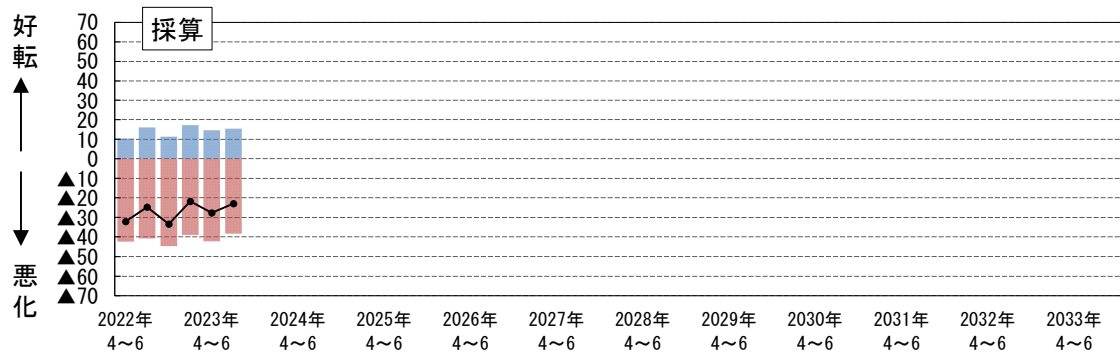
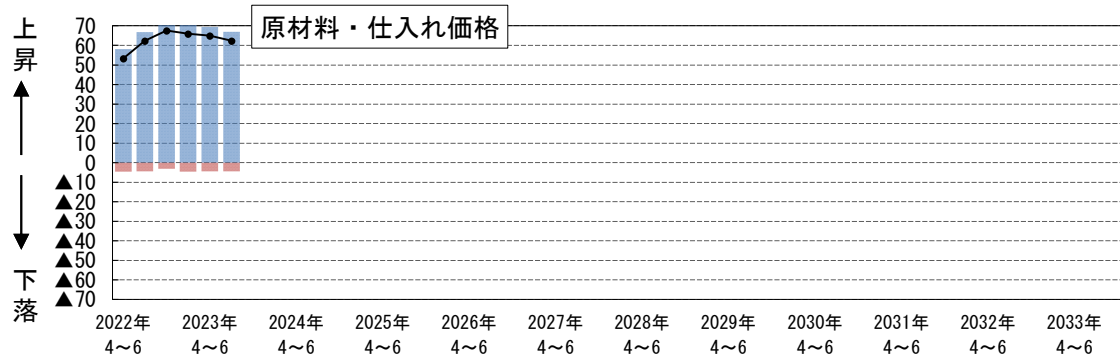
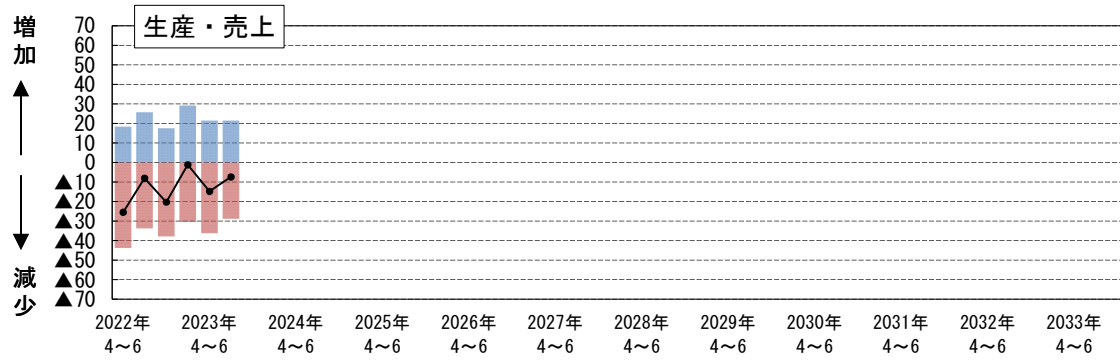
※今期のDI(全規模)が前期よりも10ポイント以上差がある業種については、矢印を表記している。  
※表中の見方は右図の通り。



DI	▲60.1以下	▲60.0~▲40.1	▲40.0~▲20.1	▲20.0~▲5.1	▲5.0~5.0	5.1~20.0	20.1以上
天気							

(参考資料)

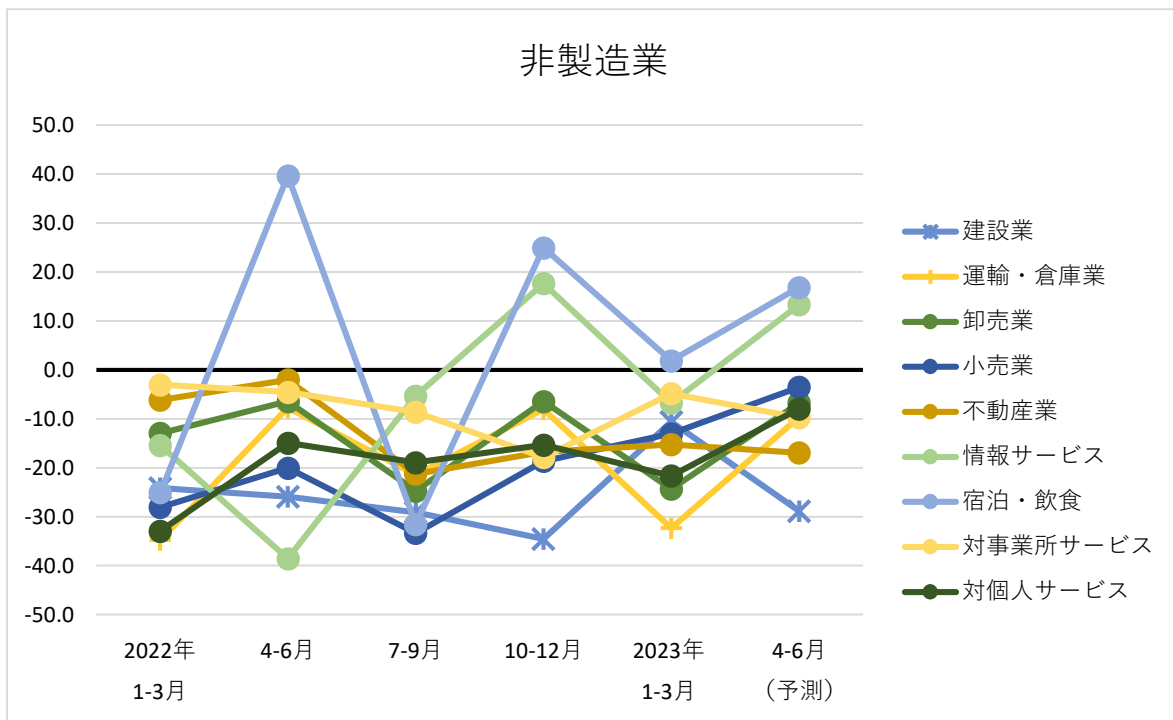
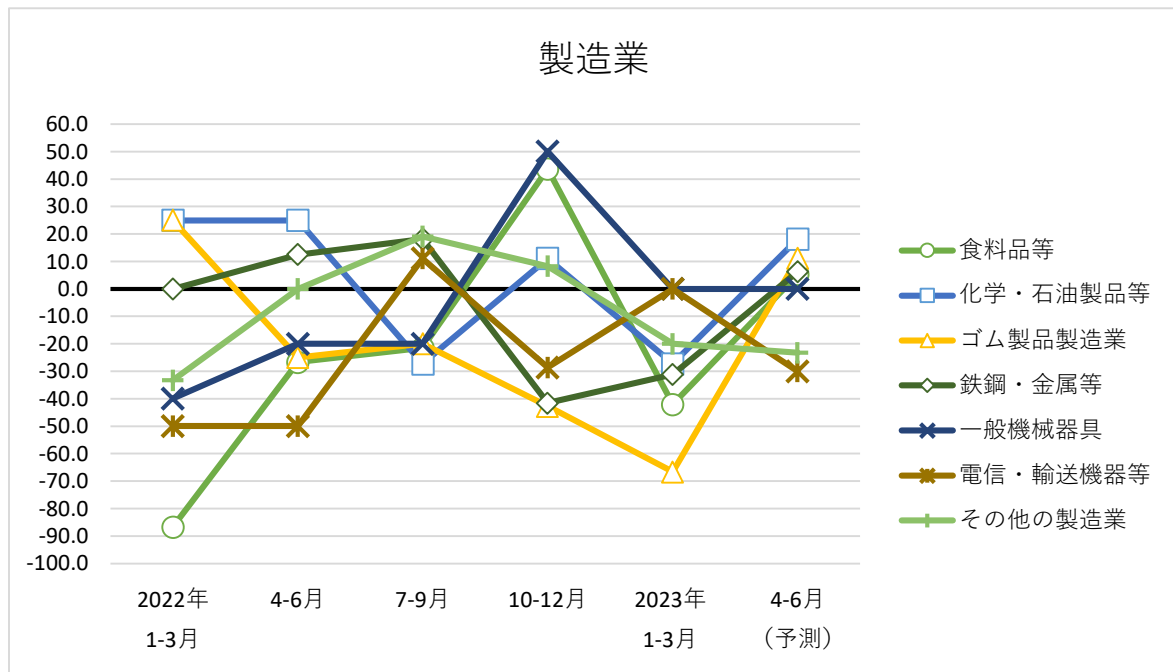
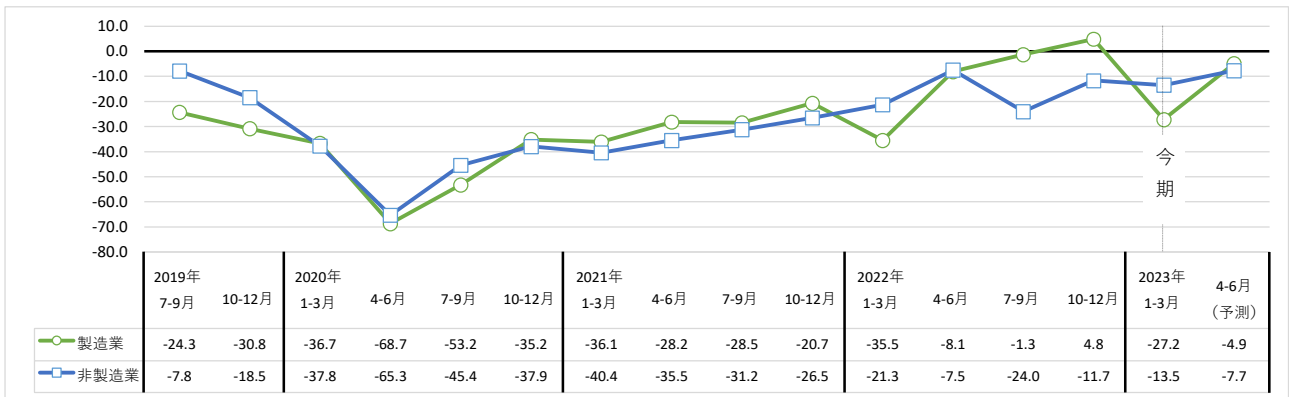
主要指標の推移



(1) 業況

「各四半期の業況が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「上昇と回答」 (%) - 「下降と回答」 (%)

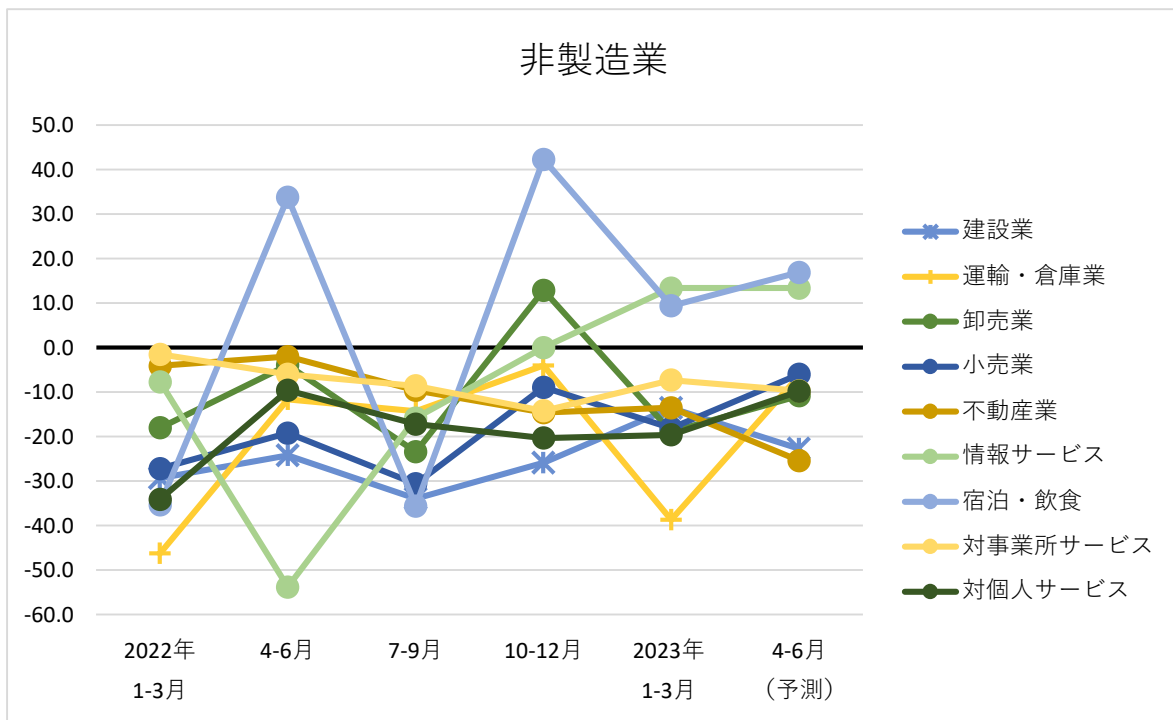
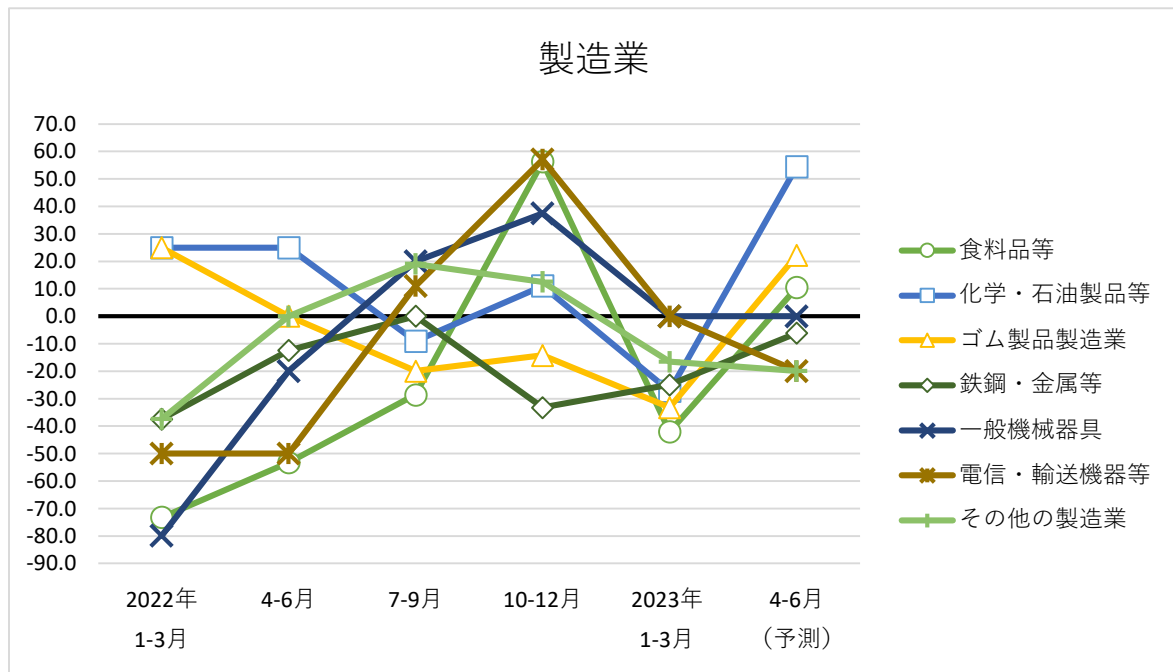
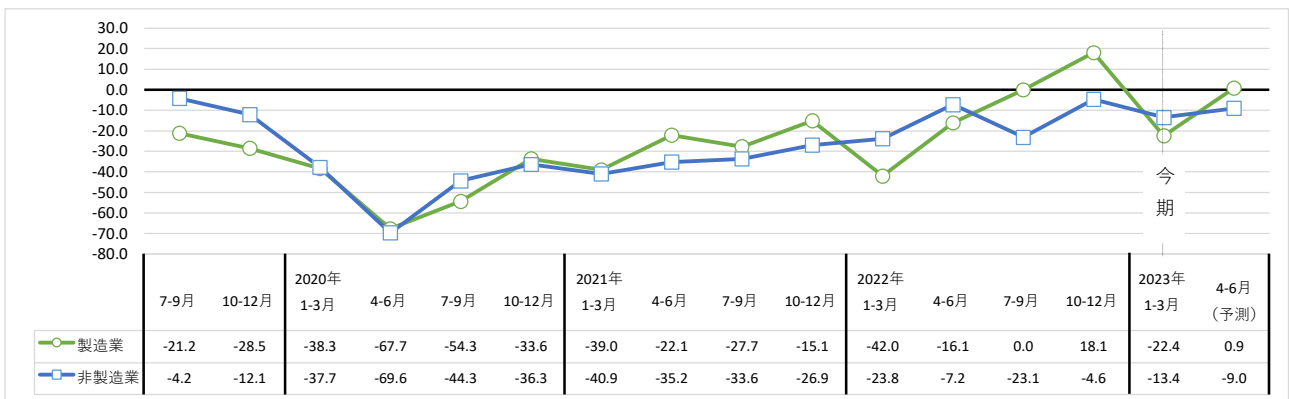


区分1	区分2	区分3	業況DI（上昇一下降）			
			2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6 （予測）	
全体			-9.3	-15.7	-7.2	
規模別	大規模		33.3	-16.6	16.6	
	中規模		2.1	-6.1	8.8	
	小規模		-18.7	-21.7	-17.7	
業種別	製造業		4.8	-27.2	-4.9	
		食料品等	43.7	-42.1	5.3	
		化学・石油製品等	11.1	-27.3	18.2	
		ゴム製品製造業	-42.8	-66.7	11.1	
		鉄鋼・金属等	-41.6	-31.2	6.3	
		一般機械器具	50.0	0.0	0.0	
		電信・輸送機器等	-28.6	0.0	-30.0	
		その他の製造業	8.3	-20.0	-23.3	
		非製造業		-11.7	-13.5	-7.7
		建設業		-34.5	-10.6	-28.8
		運輸・倉庫業		-8.0	-32.3	-9.6
		卸売業		-6.4	-24.3	-6.7
		小売業		-18.6	-13.0	-3.5
		不動産業		-16.7	-15.2	-16.9
		情報サービス		17.7	-6.7	13.4
		宿泊・飲食		25.0	1.9	16.9
		対事業所サービス		-17.8	-4.8	-9.7
	対個人サービス		-15.3	-21.6	-7.9	

(2) 生産・売上

「各四半期の生産・売上が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「増加と回答」 (%) - 「減少と回答」 (%)





区分1	区分2	区分3	生産・売上DI（増加－減少）			
			2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6 （予測）	
全体			-1.2	-14.8	-7.4	
規模別	大規模		33.3	-16.6	16.6	
	中規模		8.3	-4.9	5.6	
	小規模		-9.2	-20.9	-15.9	
業種別	製造業		18.1	-22.4	0.9	
		食料品等	56.3	-42.1	10.5	
		化学・石油製品等	11.1	-27.3	54.5	
		ゴム製品製造業	-14.3	-33.3	22.2	
		鉄鋼・金属等	-33.3	-25.0	-6.2	
		一般機械器具	37.5	0.0	0.0	
		電信・輸送機器等	57.1	0.0	-20.0	
		その他の製造業	12.5	-16.6	-20.0	
		非製造業		-4.6	-13.4	-9.0
		建設業		-25.9	-13.6	-22.7
		運輸・倉庫業		-4.0	-38.7	-6.4
		卸売業		12.9	-18.9	-10.8
		小売業		-8.9	-18.1	-6.0
		不動産業		-14.6	-13.5	-25.4
		情報サービス		0.0	13.4	13.4
		宿泊・飲食		42.3	9.4	16.9
	対事業所サービス		-14.2	-7.3	-9.7	
	対個人サービス		-20.3	-19.6	-9.8	

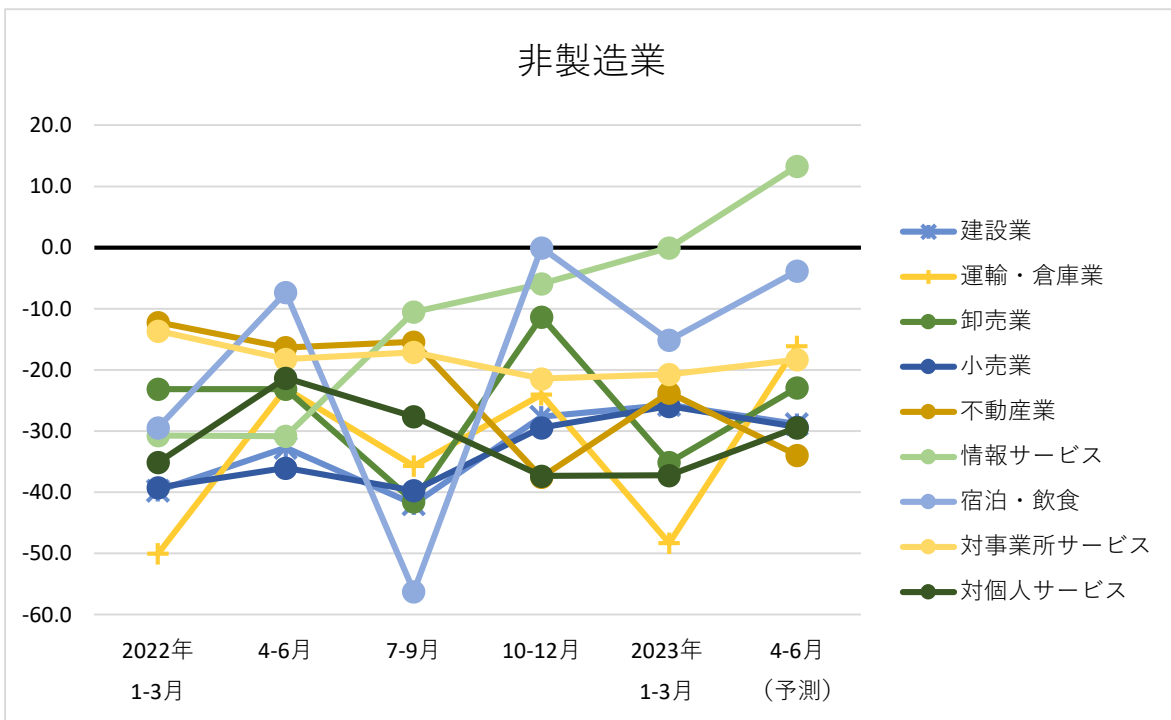
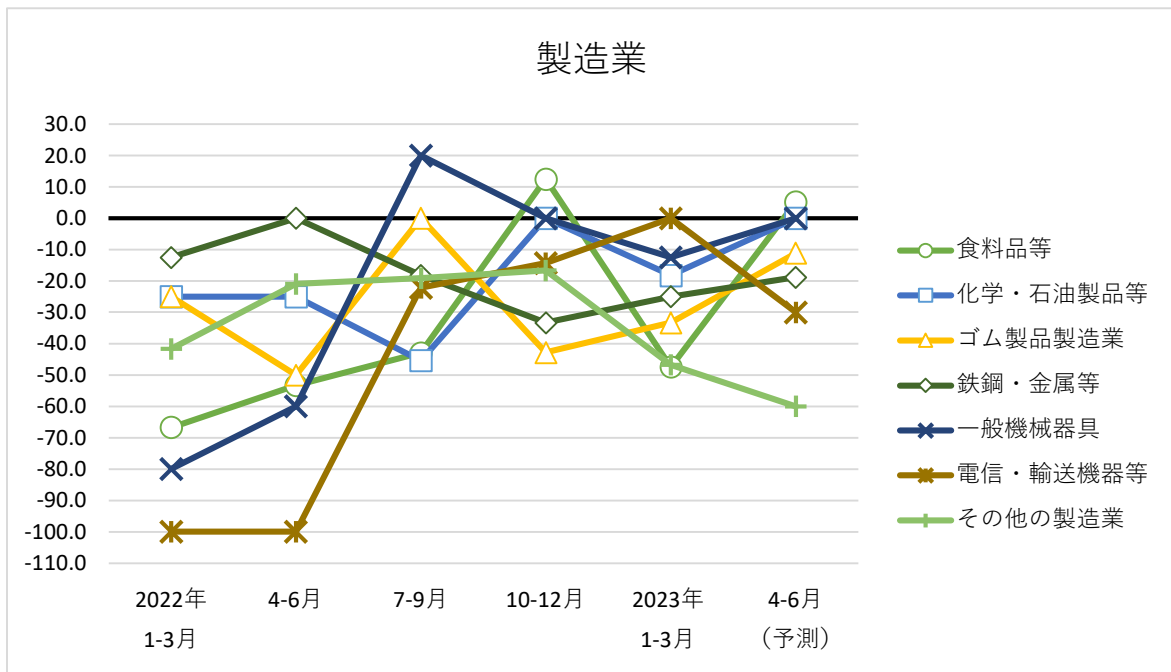
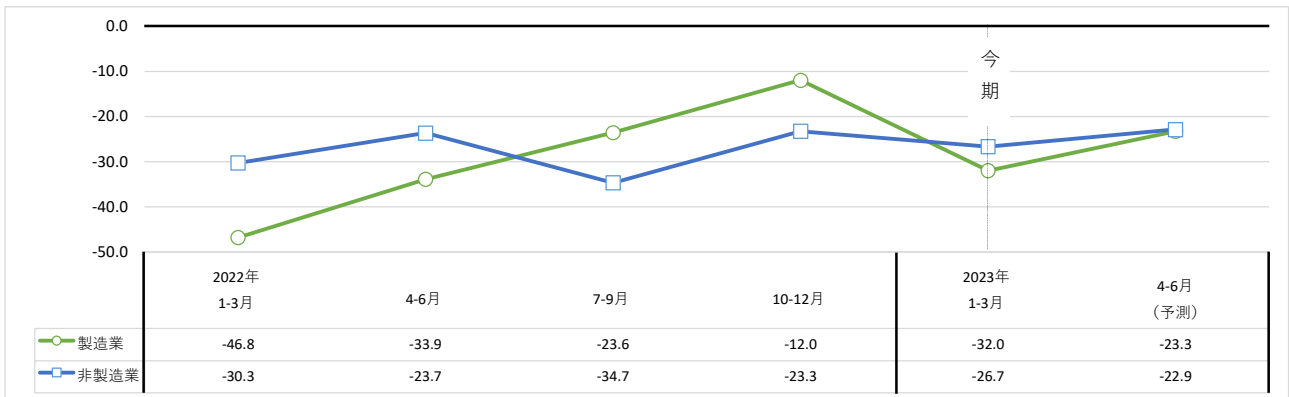


区分1	区分2	区分3	原材料・仕入れ価格（上昇一下落）			
			2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6 （予測）	
全体			66.0	65.0	62.4	
規模別	大規模		83.3	33.3	33.3	
	中規模		68.7	70.2	70.2	
	小規模		63.7	62.3	58.1	
業種別	製造業		80.7	72.8	65.1	
		食料品等	93.8	57.9	42.1	
		化学・石油製品等	88.9	81.8	63.6	
		ゴム製品製造業	85.7	77.8	88.9	
		鉄鋼・金属等	75.0	75.0	81.3	
		一般機械器具	37.5	25.0	37.5	
		電信・輸送機器等	71.4	80.0	50.0	
		その他の製造業	87.5	86.7	76.7	
		非製造業		63.5	63.6	62.0
		建設業	68.9	75.8	74.3	
		運輸・倉庫業	60.0	48.3	61.3	
		卸売業	72.6	74.3	68.9	
		小売業	71.5	68.1	62.9	
		不動産業	43.8	45.8	49.1	
		情報サービス	52.9	33.3	33.3	
		宿泊・飲食	100.0	88.7	84.9	
		対事業所サービス	37.5	54.9	51.2	
		対個人サービス	47.4	49.0	51.0	

(4) 採算

「各四半期の採算が直前の期と比較してどう変化したか」についてたずねた。

\*各期の指標 (DI) = 「好転と回答」 (%) - 「悪化と回答」 (%)



区分1	区分2	区分3	採算（好転－悪化）			
			2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6 （予測）	
全体			-21.7	-27.6	-22.9	
規模別	大規模		33.3	-16.6	16.6	
	中規模		-21.7	-21.0	-13.3	
	小規模		-22.8	-31.8	-29.5	
業種別	製造業		-12.0	-32.0	-23.3	
		食料品等	12.5	-47.4	5.2	
		化学・石油製品等	0.0	-18.2	0.0	
		ゴム製品製造業	-42.8	-33.3	-11.1	
		鉄鋼・金属等	-33.3	-25.0	-18.8	
		一般機械器具	0.0	-12.5	0.0	
		電信・輸送機器等	-14.3	0.0	-30.0	
		その他の製造業	-16.6	-46.7	-60.0	
		非製造業		-23.3	-26.7	-22.9
		建設業	-27.6	-25.7	-28.8	
		運輸・倉庫業	-24.0	-48.3	-16.1	
		卸売業	-11.3	-35.1	-22.9	
		小売業	-29.4	-25.9	-29.3	
		不動産業	-37.5	-23.7	-33.9	
		情報サービス	-5.9	0.0	13.3	
		宿泊・飲食	0.0	-15.1	-3.8	
	対事業所サービス	-21.4	-20.7	-18.3		
	対個人サービス	-37.3	-37.2	-29.4		



区分1	区分2	区分3	資金繰り（好転－悪化）			
			2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6 （予測）	
全体			-21.0	-19.7	-18.2	
規模別	大規模		66.7	0.0	0.0	
	中規模		-23.8	-14.1	-11.3	
	小規模		-20.6	-23.4	-22.7	
業種別	製造業		-8.4	-19.5	-16.5	
		食料品等	0.0	-21.0	5.2	
		化学・石油製品等	0.0	-27.3	-18.2	
		ゴム製品製造業	-14.3	-22.2	-33.3	
		鉄鋼・金属等	-8.4	-18.7	-12.5	
		一般機械器具	-12.5	-12.5	0.0	
		電信・輸送機器等	14.3	0.0	-10.0	
		その他の製造業	-20.8	-23.4	-33.3	
		非製造業		-23.2	-19.7	-18.4
			建設業	-17.3	-13.6	-15.1
			運輸・倉庫業	-32.0	-32.3	-29.1
			卸売業	-16.1	-21.6	-22.9
			小売業	-31.4	-25.8	-22.4
			不動産業	-22.9	-6.8	-11.9
			情報サービス	11.7	0.0	13.3
			宿泊・飲食	-34.6	-20.8	-18.9
			対事業所サービス	-19.7	-13.4	-10.9
		対個人サービス	-22.0	-33.3	-29.4	